

西日本日独協会会員各位

2021.06.17

西日本日独協会特別企画のご案内

会員による会員のためのオンライン講義：近代ドイツの「フォルク」

特別企画第3弾のご案内です。これまで第1弾では「チーム〈ドイツ〉の最前線」について、第2弾では「近現代ドイツにおける〈女性〉」について話題を提供してきました。今回は、福岡大学の先生方の協力を得て、近代ドイツの「フォルク」Volk をさまざまな観点から検討したいと思います。部分参加でも構いません。皆さまからの多数のお申し込みを、心よりお待ちしております。

企画委員長 小黒康正

参加資格：「西日本日独協会会員」ならびに「ドイツ語講座受講者」の皆さま
申込先：協会事務局 (info@jdg-nishinihon.org) にメールにてお申し込みください。
申込締切日：7月7日(水)
視聴先：Zoomを用いて行いますので、申込者にURLとパスワードをお伝えします。

プログラム：

■ 第6回講義 7月10日(土) 17時から18時まで

田口武史(福岡大学)：18世紀ドイツの「オリンピック」

ご存じのとおり、近代オリンピックは19世紀末フランスのクーベルタン男爵の構想に端を発しますが、実はそれより100年前のドイツにもその萌芽がありました。啓蒙主義期のドイツにおいて、いち早く体育の価値を再発見した人物、グーツムーツ(GutsMuths)の業績を紹介しながら、オリンピックとスポーツを巡る目下の大騒動を考えてみます。

■ 第7回講義 7月24日(土) 17時から18時まで

須藤秀平(福岡大学)：ドイツ人のアイデンティティと「国民」の文学

「ドイツ」と一口に言っても、歴史的にはその国境は何度も変わってきました。その中で「ドイツ人」とは一体誰を指すのでしょうか。ドイツ語で語られたドイツ人のイメージや理想について、近代以降の文学とからめて紹介し、「ドイツ人」ひいては「国民」という考え方がどのように作られ、広まっていったのかを考えます。

■ 第8回講義 8月7日(土) 17時から18時まで

小黒康正(九州大学)：民衆メールヒェンと創作メールヒェン

メールヒェンとは何か。それはヤヌスの相貌をもつ「小さな物語」です。一方に無名の民衆によって伝承される「民衆メールヒェン」があり、他方で特定の作者によって創作される「創作メールヒェン」があるからです。その二面性を、世界初の創作メールヒェンであるヴィーラント『王子ビリビンカー物語』(1764年)に基づいてお話しします。

..... 返信用フォーマット

西日本日独協会事務局 御中

西日本日独協会特別企画を申し込みます。

ご芳名：